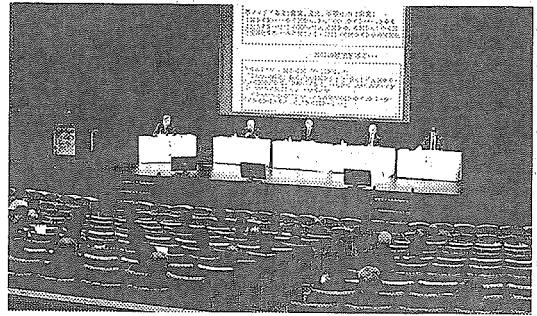


# 魅力的な地域づくりへ

## 建コン協 西日本4支部

### 大阪市で シンポジウム やっぱり、未来は面白いほうがいい。

建設コンサルタント協会  
(建コン協)の近畿・中国  
・四国・九州の4支部は9  
日、大阪市中央区のエル・



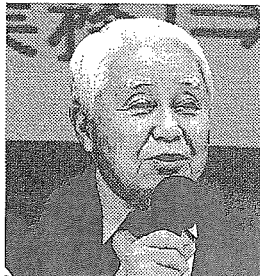
おおさかで西日本4支部連  
携合同提言公表シンポジウ  
ム「西からつくる、未来の  
カタチーやっぱり、未来は  
面白いほうがいい。」を開  
催した。写真上。2050  
年の西日本のあるべき姿に  
ついて4支部が18、22年  
に意見交換を行って取りま  
めた提言を発表するととも  
に、4支部長がパネルディ  
スカッションで魅力的で活  
気に満ちあふれた西日本の  
地域づくりについて話し合  
った。

シンポジウムには会場に  
約250人が参加し、ウェ

ブで約260人が聴講。冒  
頭、吉津洋一建コン協近畿  
支部長が「西日本は歴史、  
文化、豊かな自然、すばらし  
い食材にあふれた地域だ。  
これをいかに活用して西日  
本の再生につなげていくか  
についてパネルディスカッ  
ションで各支部長が熱を込  
めて語るの、最後まで楽  
しんでほしい」とあいさつ  
した。

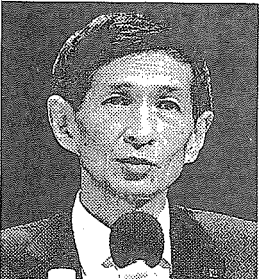


小田中国支部長



田中九州支部長

この後、「瀬戸内海を活  
用した西日本連携」をテー  
マに池田豊人香川県知事が  
ウェブで講演。瀬戸内海を  
取り巻く産業や観光の状況



吉津近畿支部長



天羽四国支部長

を取り組むとそれを支えるイ  
ンフラが必要だ。西日本の  
共通の課題に向けて一緒に  
取り組んでいきたい」と語

を説明した上で、「西日本  
の連携は瀬戸内の力をつま  
く使っていくことが必要  
で、産業と観光の両輪で発  
展を目指すことが大事なポ  
イントだ。瀬戸内海にはそ  
れだけのポテンシャルがあ  
る。人口減少下でもDX技  
術を導入することで生産性  
の拡大が可能であり、いま  
一度産業の拠点化を目指す  
べきだ。西日本の発展のた  
めにはいろいろな視点での

各支部長はそれぞれの地  
域のリーディングプロジェ  
クトなどを紹介し、提言の  
実現に向けた課題や効果な  
どについて言及。田中清九  
州支部長は「2050年の  
姿は30年先の主役たちが語  
ることが重要。提言ができ  
た意義は大きく、若手がさ  
らに提言を進化させ、国土  
交通省や自治体、経済団体  
などにも積極的に発信して  
いきたい」と述べ、小田秀  
樹中国支部長は「隣接した  
地区のポテンシャルや課題  
を知ることにより、中国地

区に在り方を認識できた。  
若手技術者にも刺激にな  
り、未来に希望があること  
を示すことができた」と話  
した。

最後に大津氏が「意見交  
換会のアウトプットは合同  
提言書となるが、アウトカ  
ムはこの活動に参加した建  
設コンサルタントエンジニ  
アの意識の活性化であった  
と確信している。今後も4  
支部の連携を継続してある  
べき姿を実現する次世代に  
引き継いでほしい」と締め  
くくった。

天羽誠二四国支部長は  
「南海経済軸を構築するこ  
とにより、西日本全体の連  
携と強化が進み、四国地域  
の発展に寄与する。四国の  
提言を機に、議論した若手  
の活躍と飛躍を願ってい  
る」、吉津支部長は「三方  
(地域・地方・国)よし、  
未来よしの精神で次の世代  
によりよい国土と地域社会  
を残したい。志を同じくす  
る仲間とグラウンドデザイン  
を共創する流れをつくりた  
い」と強調した。